



「Daigasグループ“小さな灯(ともしび)”運動」寄贈
ー1月17日(水)に寄贈式を実施しますー

Daigasグループでは、昭和56年から企業ボランティア活動として「“小さな灯”運動」を実施されており、このたび香芝市にデジタルベビースケールを寄贈いただくこととなりました。

市役所庁舎に新設した授乳室に設置し、利用者が子どもの健康管理などに役立てられるよう、大いに活用させていただきたいと考えています。

つきましては、感謝の意を込めて以下のとおり寄贈式を執り行いますので、取材のほどよろしくお願いたします。

寄贈式について

◆日時 1月17日(水)16:00～

◆場所 香芝市役所3階 第1会議室

◆寄贈品 デジタルベビースケール

◆出席者 (予定)

○大阪ガス株式会社

奈良地区支配人 福井 克久(フクイ カツヒサ)氏
エナジーソリューション事業部 業務部 地域共創第1チーム

マネジャー 清水 拓哉(シミズ タクヤ)氏

支配人補佐 古賀 裕義(コガ ヒロヨシ)氏

○香芝市

市長 福岡 憲宏(フクオカ ノリヒロ)

総務部長 上平 健二(ウエヒラ ケンジ)

管財課長 藤井 妙子(フジイ タエコ)

◆当日の流れ(予定)

ベビースケール寄贈

大阪ガス株式会社 挨拶

福岡市長挨拶

写真撮影

1階授乳室



4階授乳室



デジタルベビースケール：
赤ちゃん用の体重計で、体
重を測ることで授乳量を知
ることができる機器です。

《参考》

・「Daigasグループ“小さな灯”運動」について

“小さな灯運動”は、昭和56年(1981年)の国際障がい者年に、Daigasグループ各社と従業員等からの寄付で発足した社会貢献活動です。

この活動の特徴は、「私たち一人ひとりが身近なことに関心を持ち、地域社会のさまざまな問題の解決に自らの意思で積極的に取り組んでいこう」という考え方にに基づき、社員が自主的に活動を企画し、参加し、続けていく点にあり、発足後40年以上にわたって、児童福祉施設の子どもたち、高齢者、障がい者、災害被災地等への支援活動を継続されています。

“小さな灯”基金は、“小さな灯”運動の開始と同時に創設され、グループ従業員、その他関係先等からのチャリティカレンダー募金をはじめとする「募金」で成り立っています。集まった募金は、各地域の社会福祉活動や、“小さな灯”運動の活動資金として役立てられています。

【本件に関するお問い合わせ先】

奈良県香芝市本町1397番地

香芝市役所総務部管財課 担当:寺西 ☎0745-44-3338(直通)